

番号	タイトル	種類 上映時間	内 容
DEC-1	Free Namibia (N-5)	カラー 27分	旧南西アフリカとして知られるナミビアはいまなお南アフリカの少数白人政権の統治下にある。白人の移住者、実業家のインタビューは、自らの裕福な生活とそれとは対照的に人間以下の生活を余儀なくされている多数派黒人の姿を浮き彫りにする。国民を分断する非人道的なアパルトヘイトと民族解放運動、SWAPOの成長ぶりを紹介する。SWAPOの代表は残虐な抑圧政策からの自由をめざして不屈な闘いを展開する決意を表明する。(国連 1978年)
DEC-2	Generations of Resistance (N-8)	カラー 52分	南アフリカのアパルトヘイトとこれに対するブラックナショナルリズムの台頭を歴史的に描写。(国連 1980年)
DEC-3	Artists Against Apartheid	カラー 28分	歌手、芸術家、俳優達が反アパルトヘイト運動を自分たちの芸術で講義する。“遠い夜明け”や“ワールド・アパルト”の映画の一部を組み込んだ今までにない反アパルトヘイト運動を描写。(国連 1989年)
DEC-4	ASIMBONANGA	カラー 6分	アシンボナンガはズールー語で“何も見えない”を言う。南アフリカの黒人達は“正義”“自由”“公正な裁判”等を今でも見えていない。アパルトヘイトの実態をジョン・バエズの歌と写真でつづる。(国連 1989年)
DEC-5	Namibia : Independence No.1& No.2	カラー 90分	今世紀最後の植民地の独立と言われるナミビア(南西アフリカ)をめぐる「アンゴラ和平・ナミビア独立合意」が調印され国連ナミビア独立移行支援グループ(UNTAG)が現地入りした。1989年11月の独立に向けた選挙を手助けするためUNTAGの一員としてナミビアに赴任した国連職員の様子を追う。(国連 1989年)
DEC-6	The World Against Apartheid	カラー 27分	1990年2月に釈放された反アパルトヘイト闘争の「象徴」ネルソン・マンデラ氏の闘争の過程と反アパルトヘイト運動に対する世界行動を収録。(国連 1990年)
DEC-7	Namibia Independence -Election-	カラー 28分	1989年11月初め、独立を問う「ナミビア制憲議会選挙」のため、総勢六千人の軍事要員、文民が国連ナミビア独立移行支援グループ(UNTAG)として派遣された。各地を巡回し、自由で公正な選挙が行われたとアーティサリ国連ナミビア事務総長特別代表が宣言。(国連 1990年)
DEC-8	Namibia Independence -A Nation Is Born-	カラー 22分	1990年3月21日ナミビアが独立。独立前夜の喜びの市民、独立記念式典にハビエル・ペレス・デクエヤル事務総長が出席。ナミビア初代大統領にサム・ヌンジョ氏が宣誓就任した。(国連 1990年)
DEC-9	About the UN : Decolonization	カラー 18分	国連教育ビデオ:独立編 植民地時代、非自治地域時代の映像を使用しながら「民族自決の権利」獲得への過程を説明。アフリカ、アジア、カリブ海地域には過去30年間イギリス、フランス、スペイン、ポルトガルによって支配されていた国がたくさんあった。1960年代に多数の国々が独立を果たし国連の加盟国となった。(国連 1993年)
DEC-10	UNOMSA - UN Observer Mission in South Africa 1992-1994	カラー 30分	南アフリカは1948年以来、国家によって強制された人種差別隔離政策(アパルトヘイト)をとってきた。長い苦難の末、1994年5月、最初の民主的で人種差別のない選挙を実施することになった。この選挙の実施に当たり国連南アフリカ監視団(UNOMSA)が結成され、全世界から2,300人の国際選挙監視員が南アフリカに集合、自由で公平な選挙を行うことが出来た。新生南アフリカの初代大統領にネルソン・マンデラ氏が就任。このビデオは1992年から1994年にかけてのUNOMSAの任務と役割、選挙までの様子を収録している。(国連 1994年)

番号	タイトル	種類 上映時間	内容
DEC-11	Ralph Bunche: An American Odyssey	カラー 117分	前国連事務次長であったラルフ・バンチ氏の活動を振り返るドキュメンタリー・ビデオ。ラルフ・バンチ氏と密接に仕事をした仲間として、ブライアン・アークハート卿がそのバイオグラフィーを語り、ラルフ・バンチ氏の成し遂げたアフリカ系アメリカ人のサクセスストーリーとして、1950年のノーベル平和賞受賞、国際外交、非植民地化、平和維持活動等への貢献などを振り返る。フィラデルフィア国際映画祭、ヒューストン国際映画祭でベストドキュメンタリー部門の金賞を受賞した。(国連 2001年)